

## 2020年度 授業改善報告書

科目開講時期 いずれかに○をする	第(2)セメスター(後半)
科目区分 いずれかに○をする	( ) 必修科目 ( ) 選択必修科目 (○) 選択科目
科目名	透析安全管理学特論
担当教員名	椿原 美治

以下の項目についてご記入ください。 ※ オムニバス形式による授業の場合は、代表教員が科目全体についてご記入ください。
記 入 欄
<p>1. 教育効果の向上を目的とし<u>今年度実施した工夫や取り組み等</u>について</p> <p>1. 可能な限り、最新データを盛り込んで、講義内容を修正した。</p> <p>2. 受講者が透析経験のある看護師と臨床工学技士であったため、より専門的な内容を加え、双方向的な授業を行った。</p> <p>3. 本年度も「災害時安全管理」とし、適任の赤塚東司雄先生を外部講師と招聘していた。2019年に、震災や台風、大雨など、多くの災害を経験したため、教務委員会などの了解を得て、全ての教員や学生を対象として開催し、学生を含む聴講者から評価を得た。本年度は、COVID-19対策を含めた内容で講義をして頂いた。</p> <p>2. <u>カリキュラム・アンケート結果を踏まえた具体的な改善策、その他次年度の授業に向けた工夫や取り組み等</u>について</p> <p>(1) 透析医療を熟知した学生と、従事歴が少ない(あるいは無い)聴講者などへの並列対応には限界があり、受講者や聴講者の職歴を確認した上で、講義内容を事前に修正する。</p> <p>(2) 透析従事歴の少ない(あるいは無い)聴講者などには、事前に聴講の意図や出席日の確認を行い、授業内容が聴講の目的に叶っているか否かの確認を行う。</p> <p>(3) 透析医療を熟知した学生に対しては、積極的に双方向的な授業形態(active learning)を目指す。</p> <p>(4) 本年度はCOVID-19などの災害があり、次年度何が起こるか判らない状況である。近い将来起こるであろう震災対応を主体とし、直近の災害対応を含め、次年度も赤塚東司雄先生を外部講師として招聘する。</p>